

支援教育グループ研究会

グループ員：門脇 陽一	(伊丹特別支援学校)	山岸 順子	(稲野小学校)
本田 麻	(緑丘小学校)	仁田 洋子	(桜台小学校)
荒井 真由	(瑞穂小学校)	桑原 友香	(瑞穂小学校)
小林 純子	(瑞穂小学校)	徳本 大典	(瑞穂小学校)
兼田 千春	(鈴原小学校)	吉久 奈保美	(鈴原小学校)
岩本 とよ子	(鴻池小学校)	天後 毅彦	(伊丹特別支援学校)
大東 真由美	(せつよう幼稚園)	宿南 由紀	(せつよう幼稚園)

担当指導主事：上野 みづほ

キーワード：特別支援教育 事例研究 応用行動分析学

1 研究テーマ

「応用行動分析を用いた特別支援教育の技法について」

2 研究内容

- (1) 子どもの行動の理解の仕方について
 - ① 発達段階から子どもの行動を考える
 - ② アメリカの心理学者コロロソのモデル(注1)から考える
 - ③ 子どものパニックの段階(注2)に応じた支援の仕方
- (2) 仮想事例を元に応用行動分析学のABC分析と機能分析の手法を用いた指導についての研修
講話「ABC分析と機能分析について」

関西国際大学 藤田 継道 教授から、子どもの行動の分析の方法と原因に応じた指導の方法について講話をいただいた。ABC分析について、事前(A)、行動(B)、結果(C)の3つの分析方法だけではなく、確立操作(E)、弁別刺激(D)の2つを合わせたより高度な分析手法についても研修した。また、仮想事例を元に、機能分析の手法を用いて、子どもの行動する動機についての分析をした上で、指導方法をグループワークで検討した。

- (3) ABC分析と機能分析を用いた事例検討
実際の事例を元に、ABC分析、機能分析を用いて分析し、グループワークを通して今後の指導方法について検討した。教室移動を嫌がる子ども、学習参加を嫌がる子どもなどについての事例検討を行った。

3 成果と課題

- (1) 成果
 - ① 発達段階や家族のモデル、パニックの段階などから子どもの行動の理解の仕方を学ぶことができた。グループで話し合うことで、具体的な姿を想定しながら理解を深めることができた。
 - ② 子どもの自傷行為や他傷行為、学習への不参加などの行動の分析方法を理解することができた。一人一人の子どもの行動を深く分析し、より細やかな支援を行う方法を学ぶことができた。
 - ③ 事例検討では、子どもの行動を分析し、有効な指導方法について学ぶことができた。
- (2) 課題
専門的な分析手法を理解することはできたが、実際に教室場面で指導をするときには様々な困難があり、組織的な支援体制を組む必要がある。様々な職種の指導者や支援者が互いにサポートできる支援のあり方について今後も研修を深めていく必要がある。

「参考文献」

(注1)バーバラ・コロローソ『いじめの根を絶ち子どもを守るガイド』東京書籍、2006

(注2)ブレンダ・スミス・マイルズ『アスペルガー症候群とパニックへの対処法』東京書籍、2002